

ケリー全米日米協会連合会理事長との懇談会を開催

開催日：2019年7月1日（月）

場所：経団連会館

来賓：ピーター・ケリー 全米日米協会連合会 理事長

経済広報センターでは、2012年から全米日米協会連合会（NAJAS）と協力し、全米各地で「ビジネス・スピーカー・シリーズ」と題するセミナーを開催している。同セミナーは、経済広報センター会員企業幹部が登壇し、米国での自社の事業戦略や地元経済および地域社会への貢献を説明するとともに、日米関係全般についても議論を深めることによりグラスルーツでの日米関係強化を目指すもの。これまでに、全米約20の州・地区で39回開催されている。

1日、ピーター・ケリーNAJAS理事長の来日に合わせ、ビジネス・スピーカー・シリーズ参加企業との懇談会を開催した。

冒頭、ケリー理事長から前年度の開催結果5件（旭化成、丸紅、東京海上ホールディングス、三菱商事、三菱重工から幹部が登壇）を報告。近年、日本の対米投資が工場建設等から戦略的M&Aへと変貌するなか、戦略的にM&A先企業の社名を残して地場の知名度や信頼を保持・活用する傾向がみられることを挙げ、オーナーである日系企業の貢献がもっと米国社会に伝わってもよいとの見解を示した。



参加企業からは、「地元への大規模投資の時期にあわせたよいタイミングでビジネス・スピーカー・シリーズでの講演の機会を得て、効果的にアピールができた」「買収企業従業員を含む地域社会へ広く当社方針を説明する場としても、ビジネス・スピーカー・シリーズを活用したい」等の意見があった。

ケリー理事長は今後の計画について言及し、「来年度も同セミナーを開催する。日本企業の米国での貢献を伝える場、また日米交流の場としてもぜひ同セミナーを活用して欲しい」と述べた。

以上